

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東海)	良く なっている	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・インバウンド関連の売上が著しく伸びている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・プレミアム付商品券により夏場の旅行申込が激増している。前年同月比で前月は倍増、今月も30%増加である。1泊の宿泊予約から欧州旅行まで旅行単価は1万～40万円と幅広い商品で増加しており、景気的好調さが顕著に表れている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	それ以外	・新規出店の要請がある。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・ここ数か月は購買意欲がみられ、販売量の増加にもつながりつつある。商品や売場によっては、売上が増加している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・式年遷宮から約2年となり観光客の動きは平静を取り戻し安定しているが、伊勢志摩サミットの関連で、地域の人気が高まってきている。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・夏休み期間中は全体的に天候に恵まれ、消費の一層の拡大につながっている。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・今月は非常に暑かったが、下旬からは涼しくなり秋物衣料品の動きも顕著に出てきている。インバウンド関連も引き続き好調に推移しており、売上の底上げ要因となっている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・個別には、前年を上回っている商店と下回っている商店があるが、全体としてはやや良いという状態である。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・余裕を持って買物をしている客が多く、景気が上向いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・店舗内のほぼ全部門で、売上は前年同期比100%を大きく上回っている。市内の他店でも同じ状況である。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・8月上旬から中旬にかけて、帰省用の手土産の果物が売上を伸ばし、天候にも恵まれ売上は順調に推移している。ただし、昼の2～3時の時間帯は、猛暑を避けるためか来客数が減少している。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・お盆に関連する食品やその他の商品の売上が、全体的に前年同期比で3%ほど増加している。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・夏休みで入出が多い。
		コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・景気の底堅さの上に猛暑のおかげで、販売量が大きく上積みされている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・気温の影響もあり、3か月前に比べて冷蔵庫やエアコンが堅調に推移し、8月は良い結果となっている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数が前月よりも増えている。家族連れも多くなってきて、少しずつではあるが、客の動きに変化がみられる。
		住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・リフォームや建築工事に伴って、クロスやカーテン等のインテリアの見積りや引き合いが多くなってきている。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	来客数の動き	・芥川賞を受賞した話題作も大きく影響しているが、プレミアム付商品券で購入する客も目立ち、前年同期よりも売上が1割近く上昇している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・前月に続いて暑い日が多く、今月前半も客が多かった。お盆前後も天候に恵まれ墓参りや家族で旅行等、好調であった。下旬も雨が多かったが、通勤時間帯の客が多く、今月は平均して良い状況である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・設備投資の件数が増加傾向にあり、NGN（次世代ネットワーク）の利用も増加しつつある。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・天候に恵まれて少し客足が戻っている。
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・8月からホームケアキャンペーンが始まり、その効果で購入が増えている。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	競争相手の様子	・居宅介護事業に新規に参入する施設が増加しているため、業界では人材募集も増加傾向にある。		
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・お盆の客の契約が9月に上がってくる。来客数は例年以下だったが、真剣に考えている客が多かったため、契約数は例年通りに推移する。		

変わらない

商店街（代表者）	販売量の動き	・相変わらず売価が千円以上の商品は低迷している。しかし、千円以下の商品が伸びているので、トータルでは横ばいである。
一般小売店〔電気屋〕（経営者）	販売量の動き	・季節要因の押し上げで、今月は3か月前よりも数字が良い。季節要因を除くと、クレジット利用率は上がっておらず、現金客がかなり多いことを考えると、景気は良くない。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が安定していない飲食店がまだ多い。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・天候不順や猛暑のためか、午前中は忙しいが、午後になると来客数が落ちてしまい売上も伸びない。処方箋調剤は、お盆前の駆け込みで7月中旬から8月初めまでは忙しかったが、8月中旬以降は伸び悩んでいる。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・8月は売上が伸び悩む時期であるが、3か月前と比べて変わらない。売上が伸びているところがあるため、売上の悪いところがあっても全体で変わらない状況である。
一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・天候の影響で菊や小菊等が品薄のためかなり高騰し、例年のお盆時期より随分高くなった。しかし高いと言う客はほとんどなく、ふだん通り買われたので売上は落ちなかった。先祖の供養をきちんとする人が多いと感じる。
一般小売店〔果物〕（店員）	販売量の動き	・販売量に目立った動きはない。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・お盆休みは、家族連れで買物に来る客が多かった。買物をしない来店者数も増えているが、まだクリアランスを行っていたので、少しではあるが売上増加にもつながっている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・プレミアム付商品券が発売されたが、ほとんど店頭では使われていない。購買意欲の向上にはつながっていない。
百貨店（販売担当）	来客数の動き	・お盆セールは、例年は多い北陸からの客が少なく、売上に大きく影響した。ゴールデンウィーク同様、大型連休の遠方からの客が減少している。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・婦人服を中心とする衣料品の動きが悪く、中間層の購買意欲に弱さがみられる点で、3か月前と状況には変化がない。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・ファッション商品の動きが徐々に活発になる時期にもかかわらず、消費の主役である婦人衣料では、春からの芳しくない状況が続いている。普通の主婦層には、富裕層や一部の好調な会社業績に伴って給与増加を実態できる消費者とは異なり、生活防衛の姿勢に変化がない。
百貨店（販売担当）	来客数の動き	・夏休み期間は、商品を見ているだけの客が前年よりも多かったように感じる。
スーパー（経営者）	販売量の動き	・天候が良くないためか、お盆明けから全く来客数が伸びない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価には大きな変化はない。1客当たり買上点数は若干下がっているが、1品当たり単価が上がり客単価を維持する状態が続いている。商品の値上げ等、非常に不安定な要素もあり、お盆明け以降は、少し苦戦している。
スーパー（店員）	販売量の動き	・売上高は特に変わらず、例年と同じである。
スーパー（販売促進担当）	お客様の様子	・売上は前年同期比101%で推移しているが、実質的には前年が悪すぎた分を今年度もカバーできていない。来客数は伸びているが、1客当たりの買上点数は前年同期比94%で、売上の底上げにはつながっていない。
スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・3か月前に比べて売上は約4%下がり、来客数もやや減少している。客単価、1品当たり単価は順調に推移している。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・地域によってはプレミアム付商品券の効果による売上増加で多少改善傾向にあるが、大きな変化はない。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・プレミアム付商品券の効果で客単価が上がり、売上は前年並みをクリアしたが、来客数はまだ前年割れの状態である。
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・前年比の売上は回復傾向にあり、8月は前年同期をクリアしている。来客数は増加傾向にあるが、客単価の前年割れが5月以降発生している。

コンビニ（店長）	お客様の様子	・客は買物の際に無駄な物は買わない。くじや一時的な流行品は買わず、本当に必要な物しか購入しない。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年ならばバーゲンのポップ広告で新規客が来店するが、猛暑のため来客数が激減している。
衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・客の指向が付加価値の高い商品から必需品に絞った購入へと変わってきている。当社でもその影響を受けている。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・暑さでエアコンが前年よりも売れたが、工事可能件数とメーカー在庫が追い付かず、売行き伸びは限定的である。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売台数をみても景気が良くなっているとは思えない。イベントで来客はあっても、販売に結び付かない。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車発売の効果もあって新車の販売台数は増えており、この2～3か月でみれば、ようやく前年並みの販売台数で推移している。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販促施策を実施しても、反応が少ないという印象である。
乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・競合先の様子をみても、全体的には悪くない。例年8月はあまり動きがない月であり、広告への反響も来店の動きもあるが、横ばいである。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量は4月からずっと悪い状況が続いている。
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	販売量の動き	・夏休みということもあって、家族連れやカップルは少ない。宝石を見に来る客は多いが、購入には至らない。
その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	販売量の動き	・売上高は前年比で0.9%のプラスで、来客数は、前年比でマイナス1.7%となっており、減少傾向には変わりがない。
高級レストラン（役員）	来客数の動き	・例年お盆期間は個人利用が多い時期であるが、前年並みの来客数となっている。個人消費には、力強さが感じられない。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・今月は天候に恵まれ、集客が上がっている。
その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・お盆の連休の影響は、業界によってプラスマイナスが分かれる。当業界では、やや流れが良くないムードになっている。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・全社的には前年比、予算共にクリアしているが、内訳をみるとインバウンドや国内でも遠方からの宿泊客が好調で、大きく助けられている。近郊や地元客の利用が芳しくなく、特に食堂は前年をかなり割り込んでおり、危機感を感じる。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・宿泊予約客のリードタイムが短くなっており、不安要素が見受けられる。
都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・宿泊部門は好調であるが、宴会部門は、低迷している。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・個人客の動きが相変わらず鈍い。プレミアム付商品券でももう少し活気付くかと思ったが、それほど活性化はしていないと感じている。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・今月も忙しさを感じない。売上も、前年に比べて良くなっているとは思えない。
旅行代理店（経営者）	単価の動き	・お盆休みも終わって正月まで4か月となり、年末年始の話が増えてきている。単価が上がる時期なので、内容が良くてお買い得感のある商品が好評である。9月の大型連休向けや紅葉観賞商品も動いているが、新規の動きが鈍い。
旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・客層が二極化している。高齢で余裕のある層とそれ以外の層では消費が異なる。ただし、いずれも節約志向が強くなっている。一方でインバウンド関連は堅調であり、景気状況としては変わらない。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・旅行会社にとって、8月は一番客が動く時期であるが、台風による沖縄旅行の取消し等が出て、ほぼ前年と同じくらいになっている。販売量は伸びているが、良くなっている感じはしない。
タクシー運転手	来客数の動き	・例年8月は、繁華街への人出は少ないが、前年と比べても更に少なく、先の見えない状況が続いている。
タクシー運転手	来客数の動き	・夜の繁華街でも、人出の多い日は、月に2～3度くらいしかない。
通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客からの問い合わせ件数は平年並みで、特に変化がない。

	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・インバウンドの客は増えているが、日本人客が減っているため、変わらない。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・入場者数は予算並みで、前年同期より4%強増えている。売上高は、前年同期を4%弱上回っているものの、予算には若干届いていない。
	その他レジャー施設〔劇場〕（職員）	販売量の動き	・夏季休暇期間の前売りは例年を下回り、当日券も伸び悩んでいる。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客にお盆の過ごし方を聞くと、出掛けたという客も比較的いるが、家にいて何もしなかったという客が多い。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	お客様の様子	・介護保険法の改正により、8月から一部のサービスで利用者負担率が2割となる。その影響で、福祉用具貸与とサービスを解約する客が出てきている。
	設計事務所（職員）	それ以外	・建築の仕事は、営繕から新築まで幅広く、デパートの買物等と違って金額がとても大きい。株価の動向等、社会経済状況がとても関わってくる。前月からの株価の変動に伴う社会の落ち着かない様子、経済的な揺らぎ等をみると、景気がこれから上向きになるとは考えられない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・販売量は横ばいの状況である。
	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	販売量の動き	・不動産売買については、横ばいが続いている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・客先を回って営業しても、少額商品ですら容易には購入に至らない。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数はほとんど変わってない。客単価が低いので、販売量や販売高の改善につながらない状況が1~2年続いている。
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・最近の急激な株価安、円高への不安が高まっている。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・猛暑の影響で来客数が減少している。
	一般小売店〔自然食品〕（経営者）	販売量の動き	・客の購買動向は、中国の景気減速や株価下落等の動きに、非常に敏感であると感じている。8月の販売量は、気候の影響もあり前年同月比で2割減となっている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・ショッピングセンターに行っても、チラシの入った日とその週末は来客数があるが、夏休みなのに平日には客は入らない。コンビニも競争がますます激しくなり、地域一番店と他の店との売上格差は更に開き、大手チェーン同士でも、売れる店と売れない店の差が大きくなってきている。ここにきて、中国経済の低迷が世界的に大きく影響し、消費者の節約志向が強まり、慎重になっている。そのため、消費も輸出も伸びず、景気はやや悪くなっている。
	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・暑い時期はドリンク等の飲料やそうめん等の涼味商材がよく売れた。しかし、少し涼しくなると夏物は売れない。足元の販売量が減少しているのは、「少し涼しくなったからこれを」という客のニーズに合った商品を提案できてないためと感じる。
	スーパー（営業企画）	単価の動き	・購入点数の減少に伴い、購入単価が落ちてきている。不要不急な物に対する消費がシビアになってきている。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・お盆過ぎまで猛暑が続き、来客数が減少している。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ガソリン価格が値下がりして助かるという話は聞くが、景気は良くなっているとはいえない。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・軽自動車は堅調だが、高額車の販売は不振を極めていいる。客は少しでも安い車種を探す傾向にあり、厳しい状況である。また、年金受給者は、維持費にお金がかけれないという声も多く、不透明感が高まっている。自動車保険も、少しでも安いところへと流れる傾向がみられ、非常に不安を感じる。	

		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・株価が乱高下する経済状況であるが、客との会話では、あれは別の世界の話ということで、身の回りで景気が良くなっている実感はなく、日用品の価格上昇が実感しないと耳にする。新型車種が発売され、客がもう少し車に関心を持ってくれるかと思ったが、期待ほどではなく、景気の実態はかなり厳しいようである。
		一般レストラン (経営者)	それ以外	・野菜やその他食品等、当店で取扱う食材のすべてが値上がりしている。
		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・宿泊者数、昼食・夕食の客は、前年比で10%前後減少している。3か月前の5月頃に比べて、若干だが悪化の度合いが大きくなっている。
		通信会社(企画 担当)	販売量の動き	・夏のボーナスやプレミアム付商品券等の効果を期待したものの、実際には、新規契約は前年と比べても落ち込んできている。ショッピングセンターへのイベント出店時にも、来客数そのものが減ってきていると感じる。
		通信会社(サー ビス担当)	お客様の様子	・光回線の新規申込は増加しているが、廃止も増加している。携帯電話会社の掛け放題サービスや、節約のために携帯電話のみにする客も増えているため、固定電話の解約が増えている。
		観光名所(案内 係)	来客数の動き	・地域全般への来客数が減っている。
		パチンコ店(経 営者)	販売量の動き	・来客数の動きや単価の動きが少し悪くなっている。
		理美容室(経営 者)	来客数の動き	・例年は忙しいお盆前にも、あまり客が来なかった。
		美容室(経営 者)	お客様の様子	・地域の人口減少と来年からの消費税増税が、客のムードに影響している。
		設計事務所(職 員)	お客様の様子	・客や現場からは、景気が良くなるような話は聞かない。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・新築を検討している客がほとんどいない。リフォームが多くなってきている。
		その他住宅[室 内装飾業](経 営者)	販売量の動き	・例年夏休みは学校の改修工事があるが、今年はなかった。
		その他住宅[住 宅管理](経営 者)	販売量の動き	・今月前半は受注が好調であったが、後半はさっぱりで売上が伸びない状況である。
	悪く なっている	商店街(代表 者)	販売量の動き	・今月は創業以来最低の売上高である。大口の取引先でもほぼ同様のことを言っている。問い合わせや見積り依頼も少なく、非常に厳しい。例年と比較しても厳しい状況である。
		商店街(代表 者)	お客様の様子	・客には節約志向が相変わらず強い。
		美容室(経営 者)	お客様の様子	・客層が高齢化しており、夏の暑さもあって客足が遠のいている。
		理容室(経営 者)	お客様の様子	・地方では景気の良い話はない。相変わらず、客は安い店に流れている。
		住宅販売会社 (経営者)	競争相手の様子	・広告を出しても集客が悪く、購入意欲も感じられない。
企業 動向 関連 (東海)	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・取引先の設備投資が、今月から来月まで続くので、現時点においては、出荷量、受注量が増加している。
		輸送用機械器具 製造業(品質管 理担当)	取引先の様子	・客先では新製品の生産がもうじき始まるため、それに伴う設備投資が増えてきている。
		輸送用機械器具 製造業(総務経 理担当)	受注量や販売量 の動き	・円安を背景に、輸出並びに海外での車両組立て用の部品が数量を伸ばしている。
		輸送業(エリア 担当)	受注量や販売量 の動き	・貨物の荷動きが、前年同期比で7.3%のプラスと良くなっている。
		不動産業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・物件の引き合い件数がやや多くなり、価格低迷を脱してきている。
		企業広告制作業 (経営者)	それ以外	・人事院勧告により国家公務員の給与が上げられたのは、民間企業が好調な証拠である。
		その他サービ ス業[ソフト開 発](社員)	受注量や販売量 の動き	・上半期を通じて大手システム会社との取引が活発で、人手不足のため案件に対してすべて応えることができない。

	その他非製造業 〔ソフト開発〕 (経営者)	取引先の様子	・当社では引き合いも多く良い状態であるが、他社においてはそれほど良くない。	
変わらない	食料品製造業 (営業担当)	取引先の様子	・自動車産業の関係者の話では、発注数等はほぼ横ばいとのことである。	
	食料品製造業 (経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・猛暑、酷暑と言われる割には、夏物商品の動きが良くない。	
	出版・印刷・同 関連産業(代 表)	受注量や販売量の動き	・同業他社の状況をみても、販売量は決して良くはないようである。	
	化学工業(人事 担当)	それ以外	・量販店での来客数、旅行の混み具合等から人の動きをみても、特段の変化はない。外部要因についても、ここ3か月間では大きな変化がない。	
	化学工業(総務 秘書)	それ以外	・株価の乱高下で、穏やかな好景気が本物かと不安にさせる。世界的には、円が比較的 안전한投資先として買われている実態もあり、安心感もある。中国経済の行方に関する憶測だけで世界中の株価が揺れ動く状況は、やはり不安定である。マクロ的な不安感はさておき、周りの景気は株に興味を持つ人が増えているほかは変わりはなく、悪くはない。	
	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量は、減少傾向が続いている。	
	電気機械器具製 造業(企画担 当)	受注量や販売量の動き	・商品に対する問い合わせ件数に落ち込みはないものの、商談が成立するまでに時間がかかるようになってきている。	
	電気機械器具製 造業(営業担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・株価の動きはあまり関係ないが、円高傾向が気になる。	
	輸送用機械器具 製造業(経営企 画担当)	受注量や販売量の動き	・得意先からの受注量に変化はあまりなく、想定どおりの水準となっている。中国経済減速の直接的影響は少ない。	
	輸送用機械器具 製造業(経理担 当)	受注量や販売量の動き	・数か月前と比較して、受注量・販売量共に大きな変動はなく、着実に利益を確保できている状況が続いている。	
	建設業(営業担 当)	取引先の様子	・関係先の話や聞くと、どこも厳しいようで景気が良くない。	
	輸送業(エリア 担当)	受注量や販売量の動き	・輸出の荷動きは堅調である。	
	輸送業(エリア 担当)	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて、どちらかといえば荷物量は減っているが、大きな動きはない。取引先の様子も、良い悪いが顕著ということはない。	
	通信会社(法人 営業担当)	それ以外	・景気が上向きとなる状況が感じられない。	
	やや悪く なっている	金融業(法人営 業担当)	取引先の様子	・自動車関連では新車開発予算が多くなっており、試作用部品の受注が増加している。
		不動産業(用地 仕入)	受注価格や販売 価格の動き	・販売価格に大きな変化がない。
広告代理店(制 作担当)		取引先の様子	・ウェブ広告の受注が少しずつ増えているが、一方で紙媒体等は微減となっている。	
行政書士		受注量や販売量の動き	・出荷量が例年と変わらない。	
公認会計士		それ以外	・円安に伴う材料価格や電力料金の上昇並びに人件費の高騰により、中小企業の収益性は大幅に悪化している。金融円滑化法の出口戦略が不明確なため、返済猶予中の会社が中途半端に生き残っている。また、それに対する金融機関の対応が場当たり的である。	
会計事務所(社 会保険労務士)		それ以外	・旅行先の出来事で、宿泊料金はやや高めの宿であったが、空室確認の電話には満室で断りを入れていた。その一方で、宿泊客が購入する土産物は少なく、金の使い道にメリハリをつけている。あれにもこれにもと、金を使える状況ではないようである。	
パルプ・紙・紙 加工品製造業 (総務担当)		受注量や販売量の動き	・台風や天候不順の影響もあり、受注量・販売量共に前年同期比で5～8%ほど減少している。	
化学工業(営 業)	受注量や販売量の動き	・例年お盆にも稼働する化学メーカーがあるが、今年は少なかったため、今月の売上は予算を大幅に下回っている。		
窯業・土石製品 製造業(社員)	受注量や販売量の動き	・既往製品は堅調に推移しているが、微減傾向である。新規開発品は受注が増えつつあるが、価格競争が厳しい。		

		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、夏場に向けて4～6月期よりは増加するはずが、今年は10～20%減少している。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・スマートフォン向け設備の受注には、前年ほどの勢いがなく、自動車や一般産業用設備の受注では、その落ち込みを補うことができない。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・建築費、土地価格の上昇により、販売価格と客が購入可能な価格にかい離が生じており、競合他社と同様、販売に苦戦している。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・中国をマーケットとする製造業の荷物が大幅に落ち込んでいる。特に、建設機械関連は停止に近い状態である。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・例年8月は天候によって荷動きが変わり、猛暑の場合には夏物の荷動きが活発になる。しかし、今年は猛暑にもかかわらず、前年をやや下回る低調な荷動きになっている。一方、トラック燃料の軽油価格は値下がり傾向にあり、経営としてはコスト減少の恩恵を受け、業績は改善傾向にある。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・中国の景気減退による世界的な株安と円高により、個人の資産効果も薄れ、一部には保有金融資産に含み損が出始めており、消費に慎重になりつつある。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・衣料、家電等の量販店では売上が上昇傾向であったものの、足元には不透明感が出てきている。また、医療関係では減収傾向がみられるほか、建築工事受注にも減少がみられる。
	悪く なっている	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・注文数量の変更や納期の先送り等、ここきて急激に販売状況が悪化している。
雇用 関連	良く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年同期と比較し、途中で正社員採用を進める企業の意向がやや強くなっている。
(東海)	やや良く なっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ピアガーデン等のイベントでのスタッフ利用が増えており、例年に比べても多くなっている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・3か月前と比較して、求人数は5%強の増加がみられる。前年比でも微増の状況となっており、引き続き堅調に推移している。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	採用者数の動き	・9月以降の新型車種の販売に向けて、雇用確保の動きがある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が増加に転じている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・医療・介護分野での人手不足は慢性化している。求人募集の採用意欲も、引き続き全産業においてあるが、正社員の求人数の伸びは鈍い。基幹産業である自動車等の製造業は、海外生産にシフトした影響も出ている。オートバイ関係においては、前年末に底を打ってからは順調に推移し、残業や交代勤務を復活した会社も出始めている。また、環境産業では中国人を求人対象とした事業者の増加もみられ、現在は忙しい状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・7月の有効求人倍率は1.28倍と4月に比べて改善している。正社員の新規求人数も5.7%増加し、正社員有効求人倍率は、0.94倍まで改善している。
		民間職業紹介機関（営業担当）	周辺企業の様子	・企業からの求人ニーズが高まっており、既存の雇用者に対しても、賃上げ等の処遇改善の動きが活発化しているとみられる。
		変わらない	人材派遣会社（経営企画）	求職者数の動き
	人材派遣会社（社員）	それ以外	・労働者派遣法改正の動きが見通せず、企業側では、派遣人材活用の継続・拡大の判断ができない。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材をじっくり見極めて採用する傾向にあるが、有能な人材に対する求人は堅調である。	
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・製造業からのエンジニア派遣の引き合いは引き続き多く、エンジニア不足の状態が続いている。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・求人広告の件数はネットを中心に増えているが、だからといって景気が上向きとは言い難い。企業や業種によって、大きな偏りがあると感じる。	
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月比で10%ほど伸びている。新卒者の求人数も、高卒、大卒共に約10%伸びていることから、企業では求人難の状況がうかがえる。しかし、求職者が十分に集まらないのが現状である。	
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・一般求人の就職者数、充足率には特に変化がなく、前年同月でみても、月毎に微増か微減の状況が続いている。	

	民間職業紹介機関（支社長）	それ以外	・株価の低迷が続いている。
	民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・採用活動は引き続き活況である。新卒者の入社研修も終わって現場配属が完了し、その上で必要な人材について、第二新卒採用の動きも出ている。
	その他雇用〔広告代理店〕（求人広告担当）	周辺企業の様子	・業績の良い会社とあまり良くない会社があり業況が様々なので、全体で考えるとどちらでもない。
やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・8月は求人数が伸び悩んでいる。年度の初めは盛況だった採用活動も、一段落の感がある。
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・中国経済の動きに伴う世界同時株安の影響がある。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・医療・福祉や輸送分野の人手不足は慢性化している。一方で、自動車関連製造業を中心に、正社員の求人が鈍化している。
悪くなっている	-	-	-